

園だより

第1号 (H29. 4. 10~5. 2)

文責 一新幼稚園長 山岡 喜美子

一新幼稚園に着任して、3週間が経ちました。昨年度「全国国公立幼稚園 PTA 連絡協議会熊本大会」で顔見知りになった保護者の方や教え子と再会し、子どもたちと言葉を交わしながら、緊張感がとれて新しい幼稚園での生活にも慣れてきました。(子どもたちが新学期になると、緊張するのと一緒です。) 子どもにとって「楽しい幼稚園」であるために何ができるかを模索しながら、一年を過ごしていきたいと思えます。

本園は、「一人一人が自分らしさを発揮し、主体的に生活する子どもに育てる」を教育目標に掲げています。園便りでは、自分らしさを発揮する姿や主体的に生活する姿や育ちを紹介していきますのでよろしくお願いいたします。

「おへやがかわったよ。」「先生もかわったよ。」

始業式から入園式までの3日間、ふじ組・もも組の子どもたちは、入園式で披露する歌や合奏の練習をしたり、年少組のためにかわいい砂場を作る手伝いをしたりしながら、迎える準備をしました。また、新しいクラスでの生活の仕方を知ったり、扱い慣れた遊具や道具で自分のしたい遊びを楽しんだりしながら、新しい環境に慣れていきました。

(慣れるまで、元のクラスにもどってしまう子どももいましたけどね・・・)



年少のための砂場づくりの手伝い。人のために役立つ自分に気がきます。



「ぼくのところはどこかな。」タオル掛けの場所が見つかり、自分でかけてひと安心。



「こうすればサラサラになるの。」「ほら、触ってみて。」作り方は、慣れたものです。



一人でつまらなかったけど、友達が集まると、遊びの相談が始まります！仲間がいいもんだ。

「捕まいたい!」「採りたい!」「食べたいな」

春は、虫や動植物が活発に成長(生長)します。ダンゴムシは、子どもたちにとって人気者です。これまでの経験を活かして毎日探すことを繰り返します。また、子どもたちの背丈を上回って生長したスナップエンドウは、みんなで収穫することを通して、量(たくさん⇔少し)の感覚を体全体で感じ、その後クラスで春の味を楽しみました。サクランボの色づきに気づいた子どももいました。先生方は、誰からか「とりたい。」「食べたいな。」と言ってくるのを待っていました。自分の思ったことを言葉で伝えることで、実現する体験を積ませたいと思ったからです。お陰様で連休前に食べることができました。

春の自然は、子どもたちの好奇心を揺さぶりますよね。お子さんが、もしも小さな虫や動植物に出会ったら、いろいろ教えようとせずに見守り、子どもが感じる驚きや不思議さに共感しましょう。

♪い〜ら〜か〜の波と〜、く〜も〜の波〜(童謡こいのぼりより)「気持ちのよい季節を満喫しました。」

5月は、解放感を味わいながら体を十分に動かすことをねらって、広い場所での遠足や園庭で体を動かして遊ぶ環境をつくります。おみしり遠足では、お家の方にも参加していただいたことで体操やゲーム等を十分に楽しめました。園庭をおよぐこいのぼりを見て、五月の風を感じる姿もありました。さあ、これからは水での遊びが盛んになります。

お母さん方、洗濯マンに大変身!衣服の補充には、細心の心配りを願いま〜す。



体操やダンスは、「ときどきタイム」で、年長児がリードして楽しめます。頼りにしていま



エンドレスで走った後は、「のどが渇いた。」と言いながら水分補給したら、また走ります。



お母さん方と体を動かすことを楽しむときに、「楽しかったね。」と共感してもらいました。



こいのぼりが登場すると、親子で見上げる姿がありました。どんな会話をしているのかな。